

2月（きさらぎ）です。

2月2日（月）

陰暦では2月は「如月（きさらぎ）」と呼ばれ、「衣更着（寒さがぶり返し、衣を更に着る月であるから）」、「生更ぎ（春に向かって草木が生き返り、芽吹く季節であるから）」など諸説あります。そして今年は明日（3日）が節分で明後日（4日）が立春です。まだまだ寒い日が続きますが、春の足音はもうそこまで来ています。天気予報で気象予報士の方が、「春は最初に『光』、次に『音』、最後に『気温』で感じるようになる。」と話されていました。「日光の暖かさ、鳥などのさえずり、そして温度」ということです。話しは変わりタブレット（パソコン）が導入されて6年余りが経ちました。生徒たちは様々な場面で使ってくれていることを嬉しく思います。先日行われた後期生徒総会一つとってみても、数年前では考えられないICT活用の生徒総会となりました。タブレット（パソコン）を使わない教科書とノート中心の授業でも、自然と隣の友だちに教えている姿も以前とは比べものにならないくらい増えましたし、違和感がありません。数年前なら「立ち歩かず、座りなさい！」と叱られていたかもしれません。今の中学・高校生がちょうど働き盛りを迎えるのが、2040～50年頃です。その頃の日本、そして世界はどのような時代を迎えているのでしょうか。急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力として、総論には、ICTなどを活用しながら、「一人一人の児童・生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要」と『令和の日本型学校教育』に示されています。



○授業の様子

